

令和7年度

事業報告書



社会福祉法人
江津市社会福祉協議会

目 次

【1】概 要	1 頁
【2】事業実施報告	2～23 頁
I 地域福祉を担う人づくり	
(1) 福祉教育の推進	
①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）	2 頁
②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）	2～3 頁
③あいサポート運動の推進	3 頁
④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）	3 頁
⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催	3～4 頁
(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援	
①ボランティアセンター事業（養成、登録促進、団体連絡会、運営評価）	4～5 頁
②意思疎通・移動支援ボランティアの養成	5 頁
③民間助成事業の利用支援	5～6 頁
④高齢者等生活支援体制整備事業	6～7 頁
II 地域福祉を展開する地域づくり	
(1) 地域福祉活動の体制づくり	
①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 6-7 頁記載 I-(2)-④参照】	7 頁
②民間助成事業の利用支援【再掲 5-6 頁記載 I-(2)-③参照】	7 頁
③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕	7 頁
④地域介護予防活動支援事業	7～8 頁
⑤障がい者サロン事業	8 頁
⑥福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し	8～9 頁
⑦江津市社会福祉法人連絡会の活動推進	9 頁
⑧市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）	9 頁
(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり	
①災害ボランティアセンターの体制整備	9～10 頁
②災害ボランティアの養成	10 頁
③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成	10 頁
④地域介護予防活動支援事業【再掲 7-8 頁記載 II-(1)-④参照】	10 頁
⑤防犯・見守り活動	10～11 頁
III 地域福祉を支える包括的支援体制づくり	
(1) 重層的支援体制整備事業の推進	
①地域介護予防活動支援事業【再掲 7-8 頁記載 II-(1)-④参照】	11 頁
②生活支援まごころフレッシュサービス事業	11 頁
③江津和光園ふれあい講座の開催（共同募金助成事業）	11 頁
④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）	11～12 頁
⑤骨髓バンク基金事業	12 頁
⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）	12 頁
⑦生活福祉資金貸付事業	12～13 頁
⑧民生基金貸付事業	13 頁
⑨ふれあい福祉センター総合相談事業	13～14 頁
⑩福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し【再掲 8-9 頁記載 II-(1)-⑥参照】	14 頁
⑪高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 6-7 頁記載 I-(2)-④参照】	14 頁

⑫生活困窮者自立相談支援事業	14頁
(2) 情報提供体制の充実	
①広報紙の発行およびホームページの更新	14頁
②広報紙の点訳および音訳による情報提供【詳細5頁記載 I-(2)-②参照】	14頁
(3) 生活困窮者自立支援事業の推進	
①生活困窮者自立相談支援事業【再掲14頁記載 III-(1)-⑫参照】	15頁
②緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）	15頁
③生活困窮者日用品等提供事業	15頁
④入居債務保証支援事業	15～16頁
(4) 地域福祉に関する基盤整備	
①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲12頁記載 III-(1)-⑥参照】	16頁
②社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕 【再掲7頁記載 II-(1)-③参照】	16頁
③民間助成事業の利用支援【再掲5-6頁記載 I-(2)-③参照】	16頁
④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）	16頁
⑤本協議会の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）	16～17頁
⑥研修会等への参加	17～18頁
(5) 権利擁護・虐待防止対策の推進	
①日常生活自立支援事業	19頁
②法人後見受任事業	19～20頁
③権利擁護の普及啓発及び権利擁護人材の育成	20～21頁
(6) 再犯防止の推進	
①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲6-7頁記載 I-(2)-④参照】	21頁
②生活福祉資金貸付事業【再掲12-13頁記載 III-(1)-⑦参照】	21頁
③民生基金貸付事業【再掲13頁記載 III-(1)-⑧参照】	21頁
④ふれあい福祉センター総合相談事業【再掲13-14頁記載 III-(1)-⑨参照】	22頁
⑤広報紙の発行およびホームページの更新【再掲14頁記載 III-(2)-①参照】	22頁
⑥日常生活自立支援事業【再掲19頁記載 III-(5)-①参照】	22頁
⑦法人後見受任事業【再掲19-20頁記載 III-(5)-②参照】	22頁
⑧緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）【再掲15頁記載 III-(3)-②参照】	22頁
⑨入居債務保証支援事業【再掲15-16頁記載 III-(3)-④参照】	22頁
⑩社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）【再掲16頁記載 III-(4)-④参照】	22頁
(7) 団体事務の受託	
①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）	22頁
②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託）	22～23頁
③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）	23頁
④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）	23頁

令和 7 年度 事業報告

【1】基本方針

少子高齢化の急速な進展、核家族化、ライフスタイルの多様化により、伝統的な家族や地域における連帯・相互の支え合いなどの意識が低下しており、孤立や虐待、経済的困窮、貧困の連鎖など社会的孤立へと陥りやすい構造が課題となっています。また、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、老々介護や8050問題、障がいのある人の雇用、ひきこもり、ダブルケアなど、新たな課題やそれらが複合的に絡みあった、既存の制度や一方的なサービス提供だけでは十分に対応できない課題も顕在化しており、これら新たなニーズへの対応や課題解決に向けた取り組みが求められています。

誰もが家庭や職場、地域などあらゆる場で活躍できる全員参加型社会をめざすうえでは、地域福祉の枠組みを広く捉え、市民が相互に支え合えることを意識しつつ、市民全員があらゆる分野の活動に参加できる機会を得られる「地域共生社会」を実現させていくことが重要と考え、昨年度施行した「第4次江津市地域福祉活動計画」の基本理念に沿った本計画に掲げる3つの基本目標から構成する諸事業について、市行政と連携・協力しながら一体的かつ着実に進められるように努めました。

しかし、一部事業については、調整等の困難な事由から、当初計画した事業内容の変更や縮小、中止を余儀なくされることとなりました。そして、今年度、計画に掲げた諸事業の推進について、重点的に推進する事項の3項目は、次のとおり取り組みました。

・災害ボランティアセンター運営体制の強化につなげるための研修等

災害時における被災者への支援活動を効果的・効率的に行うことを目指して、昨年度から、島根県社協と県内19市町村社協による、災害ボランティアセンターの※ICT化の準備に努めました。

詳細 9-10 頁記載 I-(2)-①参照

引き続き、島根県社協と連携・協働し、災害ボランティアセンターの運営体制の強化を図るため、本協議会役職員をはじめ地域の住民ボランティア等による災害ボランティアセンター運営支援者につなげるための人材を養成する研修（訓練・勉強会）実施や活動資機材の確保などに努めます。
※ICT化：「Kintone」を活用したネットワーク通信の利用により被災者支援活動に関するデータの一元管理や情報等の共有化

・本協議会の事務組織体制の充実強化

地域福祉を推進するためには、今後の「相談支援」「地域づくり」「地域参加」を核とする重層的支援体制整備事業等に安定的且つ精力的な取り組みができるよう、継続して本協議会の事務組織におけるマンパワーの充実強化を目指し、これら事業の対応に必要な職員の確保・育成に努めました。

詳細 11-14 頁・16-18 記載（特に16-18 頁 II-(4)-⑤～⑥）

・権利擁護の普及・啓発によるその制度利用の促進と充実

誰もが持つ人格権や財産権などが侵害されないよう、日常生活自立支援事業、法人後見受任事業など権利擁護に関する事業の充実を図り、併せて、成年後見制度（任意後見制度を含む）の普及啓発に努めました。

詳細 19-21 頁記載 III-(5)-①～③参照

なお、各事業の具体的な実施状況については、以下（次頁以降）のとおりに報告いたします。

I 地域福祉を担う人づくり

事業名	①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）
事業内容	社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てることを目的とした下記の事業を実施する市内の小中学校及び特別支援学校（養護学校）に対し助成金を交付する。 (1) 基本事業（全ての学校において実施する事業） 高齢者または障がいのある人の理解と社会の問題等についての学習 福祉読本による学習、福祉講話、映画会 (2) 選択事業（学校実情等に応じて実施する事業） ア. 手話、点字、アイマスク、車椅子体験等の福祉体験教室、またはハンディキャップ体験の実施 イ. 社会福祉施設への訪問、交流活動 ウ. 高齢者等とのふれあい郵便 エ. 学校行事への高齢者、障害者等の招待 オ. 清掃、美化運動 カ. 敬老会等、地域での福祉事業への参加 キ. ボランティア活動への参加 ク. 福祉図書等の整備 ケ. 赤い羽根共同募金を通じた学習（共同募金教室）の開催 コ. その他
対象者	市内の小中学校、江津清和養護学校（12校）の児童生徒会を対象
成果等	○学校における福祉プログラムづくりのあり方について、令和4年度からの市教育委員会並びに小中学校校長会と協議を重ねた結果、子どもたちが、高齢者や障がいのある方の生活のしづらさなど、他の人のことを自分のこととして、自ら考え、判断し、表現できる学習活動に繋げられるように、本助成金交付要綱を改正施行した。 ○各学校における福祉教育プログラムづくりの支援を行うとともに、各学校の児童数、生徒数に応じて、一校あたり40,500円（基本事業30,000円、選択事業10,500円）から48,000円（基本事業30,000円、選択事業18,000円）の範囲で助成金交付。 ・特に、学校等において、子どもたちが「高齢者や障がいのある方に対する理解と社会の問題」等について学習する機会を設定の際、専門家を講師とした福祉講話の実施を推奨した。 また、様々な特性がある障がいのなかで、特に見えにくい障がいのある方が困っていることや必要な配慮の理解をすすめるための「あいサポート運動（研修）」や、福祉の専門家等を講師に招き、高齢者の生活上の困りごとをテーマとした福祉教育プログラムを推進する学校もあった。 ・「あいサポート運動の推進」に記載（<u>詳細 3 頁記載 I-(1)-③</u>） ・ボランティア（ボランティアリーダー含む）の養成〔ボランティアセンター事業〕に記載（<u>詳細 4-5 頁記載 I-(2)-①</u>） 今後、この学校事例をモデルに各学校に取り組みの働きかけを強化したい。
備考	課題：基本事業は全ての学校において実施することを依頼しているが、一部の学校からの報告がないため、助成金の利用について各学校に確認し見直しが必要である。

事業名	②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）1年目
事業内容	地域福祉の推進には、「福祉学習に始まり、福祉学習に終わる」という、反復、継続した学習機会が必要とされている。地域の生活課題、福祉課題に気づき、考え、行動し、発展させる地域ぐるみの福祉学習を推進し、地域のニーズに応えた活動を実践することによって、地域福祉を担う人づくりや地域の福祉力向上を図る。 ※事業実践者を選定（指定）した2ヵ年のモデル事業。（令和7年度から令和8年度までの2ヵ年） ※事業実践者には助成金を交付。（令和7年度：90,000円）
対象者	江津市社会福祉協議会地区支会
成果等	○地域における以下の「生活課題・福祉課題」を地域ぐるみの福祉学習に位置付け、地域のニーズに応える活動が実践できるよう地域福祉学習会（地域の課題解決を図るための座談会）を地域（事業実践者）主体とした実施にかかる総合的な支援を行った。 ・事業実践者 江津市社会福祉協議会都治支会 ・参加者 福祉委員、自治会長、民生児童委員、コミュニティ協議会役員（約40名）

	・学 習 会 第1回目(8月23日) ～地域福祉学習推進モデル事業で取り組む「福祉委員制度とは」～ 第2回目(10月4日) ～あいサポーター・福祉委員として心がけたいこと～
備 考	

事業名	③あいサポート運動の推進																											
事業内容	住民だれもが、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解し、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す。																											
対象者	市民等																											
成果等	○障がいの特性や必要な配慮などを理解して障がいのある方々を手助けする「あいサポーター」を普及するため、市内の小中学校や社会福祉協議会地区支会等に、「あいサポーター研修」の開催案内を行って、下記の依頼により実施した。 ・令和7年度あいサポーター研修実績 <table><tr><th>開催日</th><th>受講団体等</th><th>メッセンジャー</th><th>参加者 (修了者)</th></tr><tr><td>10月4日（土）</td><td>江津市社会福祉協議会都治支会</td><td>職員</td><td>39名</td></tr><tr><td>12月5日（金）</td><td>島根県立江津高等学校（3年生）</td><td>職員</td><td>10名</td></tr><tr><td>12月9日（火）</td><td>江津市立江東中学校（3年生・教員）</td><td>職員</td><td>18名</td></tr><tr><td>1月25日（日）</td><td>浅利まちづくり振興会</td><td>職員</td><td>42名</td></tr><tr><td>2月12日（木）</td><td>江津市立桜江小学校（3年生・教員）</td><td>職員</td><td>9名</td></tr></table> 【合計：118名】 【参考】令和6年度実績：参加者（修了者）97名				開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)	10月4日（土）	江津市社会福祉協議会都治支会	職員	39名	12月5日（金）	島根県立江津高等学校（3年生）	職員	10名	12月9日（火）	江津市立江東中学校（3年生・教員）	職員	18名	1月25日（日）	浅利まちづくり振興会	職員	42名	2月12日（木）	江津市立桜江小学校（3年生・教員）	職員	9名
開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)																									
10月4日（土）	江津市社会福祉協議会都治支会	職員	39名																									
12月5日（金）	島根県立江津高等学校（3年生）	職員	10名																									
12月9日（火）	江津市立江東中学校（3年生・教員）	職員	18名																									
1月25日（日）	浅利まちづくり振興会	職員	42名																									
2月12日（木）	江津市立桜江小学校（3年生・教員）	職員	9名																									
備考																												

事業名	④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）			
事 業 内 容	○社会福祉関係者や市民が一堂に会する大会を開催し、多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するとともに、実践発表等を通じて、より一層の福祉意識の醸成を図る。 ○江津市総合社会福祉大会運営委員会の開催（大会内容等の検討） ○江津市総合社会福祉大会表彰審査委員会の開催（被表彰候補者の審査）			
対象者	江津市社会福祉関係者並びに市民			
成果等	○次のとおり開催し、地域福祉の意識向上を図り「福祉のまちづくり」を推進した。 ・日時、会場 令和7年11月5日(水) 13:30～ 江津市総合市民センター大ホール ・出席者 約200名 第1部 式典 表彰状授与者 16名・感謝状授与者 4名 第2部 地域福祉活動実践発表 都野津町づくり協議会、桜江地区民生児童委員協議会、黒松こまりと救援隊			
備 考	コロナ以降6年振りに3団体による地域福祉活動実践発表を実施した。			

事業名	⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催			
事 業 内 容	○市民の皆様へ提出していただいた品物を販売し、その収益金により市内の福祉事業の推進を図ることを目的として開催。（収益金は共同募金として取り扱う） ○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会の開催（運営方法等について検討）			
対象者	市民（市民以外も含む）			

成果等	○本年度は、午前中までになっていた開催時間を14時までとしたり、野菜売場と出店を復活させたりとコロナ禍前の状態に戻して実施した。 詳細は以下のとおり。								
	令和7年度実績 <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td><td>令和7年12月7日（日）9：30～14：00</td></tr> <tr> <td>会場</td><td>・江津市総合市民センター 2階大会議室</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・来場者数：約143名（令和6年度：約134名） ・収益金：232,393円（令和6年度：159,640円） （出店団体の寄付も含む） </td></tr> <tr> <td>備考</td><td> [出店団体] 江津ライオンズクラブ（アジフライ・穴子炊き込みご飯の販売） （献眼登録推進活動） 市後屋 珈琲 焙煎所（ホットコーヒー、焼き菓子の販売） 森 山 生 花 店（花苗と鉢花の販売） ワークくわの木金城第1事業所（パン、焼き菓子、ピザの販売） </td></tr> </table>	開催日時	令和7年12月7日（日）9：30～14：00	会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室	内容	・来場者数：約143名（令和6年度：約134名） ・収益金：232,393円（令和6年度：159,640円） （出店団体の寄付も含む）	備考	[出店団体] 江津ライオンズクラブ（アジフライ・穴子炊き込みご飯の販売） （献眼登録推進活動） 市後屋 珈琲 焙煎所（ホットコーヒー、焼き菓子の販売） 森 山 生 花 店（花苗と鉢花の販売） ワークくわの木金城第1事業所（パン、焼き菓子、ピザの販売）
開催日時	令和7年12月7日（日）9：30～14：00								
会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室								
内容	・来場者数：約143名（令和6年度：約134名） ・収益金：232,393円（令和6年度：159,640円） （出店団体の寄付も含む）								
備考	[出店団体] 江津ライオンズクラブ（アジフライ・穴子炊き込みご飯の販売） （献眼登録推進活動） 市後屋 珈琲 焙煎所（ホットコーヒー、焼き菓子の販売） 森 山 生 花 店（花苗と鉢花の販売） ワークくわの木金城第1事業所（パン、焼き菓子、ピザの販売）								
備考	課題：来場者数及び収益金は微増にとどまったため、次年度の開催について再検討が必要である。								

(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援

事業名	①ボランティア（ボランティアリーダー含む）の養成〔ボランティアセンター事業〕																			
事業内容	福祉をはじめ様々なボランティア活動に関する情報提供などを、積極的に機会を捉えて地域や学校などに行い、一人でも多くの市民ボランティア活動への参加の意義や理解が深められるようその養成に努める。また、ボランティアを求めている個人や施設・団体とボランティア活動を希望する人やグループを結びつける等、ボランティア活動を推進する事業であり、概ね以下の活動を行う。 (1) ボランティア登録の促進（相談、斡旋、連絡調整） (2) 情報提供 (3) 各種出前講座（講習会）開催、指導（車椅子、高齢者の日常動作の疑似体験指導等） (4) 障がい者支援ボランティアの養成・育成（【詳細】 5 頁記載 I-(2)-②) (5) ボランティア研修会・講演会の開催 (6) 活動基盤充実（ボランティア保険加入促進） (7) 生活支援まごころフレッシュサービス事業（【詳細】 11 頁記載 III-(1)-②) (8) 歳末声かけボランティア事業（【詳細】 11-12 頁記載 III-(1)-④) (9) ボランティア団体連絡会の開催 (10) ボランティアセンターの運営評価（ボランティアセンターの運営委員会の開催）																			
対象者	市民																			
成果等	○ 登録者 <table><tr><td>個</td><td>人</td><td>37 名</td><td>（前年度比 3 名増）</td></tr><tr><td>団</td><td>体</td><td>69 団体</td><td>（前年度比 5 団体増）</td></tr><tr><td>団 体 構 成 員</td><td></td><td>1,687 名</td><td>（前年度比 54 名増）</td></tr></table> 新規団体：かくしオレンジカフェ、オープンホームひとつ風、病院まつり実行委員会 はなさく（ハナサク）、波ミリア ○ 情報発信 ・行事等でボランティアを募集 ・広報紙「ごうつ社協」第 194 号、第 196 号でボランティアセンターの情報を掲載 ○ 各種講座 <table><tr><td>期日</td><td>対象者</td><td>参加者</td><td>内 容</td></tr></table>				個	人	37 名	（前年度比 3 名増）	団	体	69 団体	（前年度比 5 団体増）	団 体 構 成 員		1,687 名	（前年度比 54 名増）	期日	対象者	参加者	内 容
個	人	37 名	（前年度比 3 名増）																	
団	体	69 団体	（前年度比 5 団体増）																	
団 体 構 成 員		1,687 名	（前年度比 54 名増）																	
期日	対象者	参加者	内 容																	

	5/21	桜江中学校 2 年生	9 名	高齢者疑似体験
	6/26	渡津小学校 3 年生	14 名	車いす体験
	11/12	津宮小学校 3 年生	56 名	高齢者疑似体験
	11/27	江東中学校 3 年生	13 名	高齢者疑似体験
	12/5	津宮小学校 3 年生	50 名	車いす体験
	12/18	川波小学校 3 年生	20 名	車いす体験
	1/13	川波小学校 3 年生	20 名	高齢者疑似体験
	1/26	桜江小学校 3 年生	9 名	盲導犬の学習 ※
	2/9	渡津小学校 3 年生	14 名	高齢者疑似体験
	2/10	桜江小学校 3 年生	9 名	高齢者疑似体験
	※印の講座は江津市出前講座に登録していない講座			
・市内小中学校 11 校の内 7 校で 9 回の講座を開催した。 ・社会福祉施設の職員や盲導犬ユーザーの協力を得ることで、一段とボランティア活動の理解が深まった。				
○ ボランティア研修会 開催日：3 月 14 日（土） タイトル：「ぼけますからよろしくお願いします」 講 師： 映画監督 信友直子氏 受講者： 145 名				
・市外(浜田市や津和野町等)からも多くの方が受講し、認知症を抱えた家族の生の声を聞いた。				
備 考				

事業名	②意思疎通・移動支援ボランティアの養成
事業内容	視覚障がい者を支援する点訳ボランティアや音訳ボランティア、聴覚障がい者を支援する手話奉仕員や筆談等による聞こえのサポーター、歩行が困難な方が外出の際に付き添うガイドヘルパー等を年度ごとに選定して、ボランティアの養成講座やフォローアップ研修を開催する。 ○手話・音訳レベルアップ講座 登録者を対象に、手話は必要な知識や技術を学びコミュニケーション力を身に着ける講座、音訳は、市広報、社協広報、議会だより等を音訳提供する際に必要な知識と技術を学ぶ講座や広報紙の点訳および音訳による情報を提供する。
対象者	市民
成果等	○手話奉仕員レベルアップ講座 ・開催回数 2 回（前年度比±0） ・延べ受講者数 5 名（前年度比 1 名減） ○音訳スキルアップ勉強会 ・開催回数 2 回（前年度比 1 回減） ・延べ受講者数 9 名（前年度比±0） ○聞こえのサポーター養成講座 ・開催回数 3 回（3 回シリーズ） ・受講者数 48 名（延べ数） ・修了証発行数 12 名 ○フォローアップ研修 ・受講者数 8 名
備 考	・聞こえのサポーター養成講座の受講者 2 名が個人ボランティアの登録を行った。 ・令和 7 年度要約筆記者認定試験の受験者…1 名

事業名	③民間助成事業の利用支援
-----	--------------

事業内容	民間助成事業の利用促進により、地域福祉活動等の活性化を図る。
対象者	不定（それぞれの実施主体が定めるため）
	○ 大和証券財団ボランティア活動助成に1団体から申請希望があり、その支援を行うため、応募団体に関するコメントを可能な限り記載（申請時に社協のコメントが必須）したが、不採択となった。
備考	課題：審査が年々厳しくなる傾向にあるため、申請団体が行っているボランティア活動の社会的意義をどれだけ書き込めるのかが、可否のポイントになると思われるので、そのあたりを踏まえて申請団体をフォローする必要がある。

事業名	④高齢者等生活支援体制整備事業（江津市受託事業）
事業内容	生活支援コーディネーターを配置し、地域住民や多様な主体との対話やネットワークの構築を行うことを通じ、関係者の間で地域の現状や将来像の共有を図るとともに、地域住民や多様な主体ごとの多様な価値判断を尊重しながら地域での共創を推進するため、次のaからeまでに掲げるコーディネート業務を実施する。 a 高齢者の支援ニーズ・関心事や地域住民を含む多様な主体の活動の状況の情報収集及び可視化 b aを踏まえた、地域住民や多様な主体による生活支援・介護予防サービスの企画・立案、実施方法の検討に係わる（国が定める要綱と同じ文言を記載のため修正不可） c 地域住民・多様な主体・市町村の役割（地域住民が主体的に行う内容含む。）の整理、実施目的の共有のための支援 d 生活支援・介護予防サービスの担い手（ボランティア含む。）の養成、組織化、具体的な活動とのマッチング e 支援ニーズと生活支援・介護予防サービスとのマッチング ※第1層生活支援コーディネーターはa～dの業務で、第2層生活支援コーディネーターはa～eの業務となる。 また、場合によっては多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進するための協議体を設置する。
対象者	65歳以上の方
成果等	○支援ニーズアセスメントを元にしたマッチング 地域包括支援センター、介護事業所及び介護支援専門員からの支援ニーズアセスメントをもとに、社会資源情報の共有、マッチングを支援した。 相談件数：7件、うち社会資源情報提供によるマッチング件数5件 ○社会資源マップアプリの構築、情報紙の更新、社会資源調査 ・社会資源マップアプリ 生活支援及び通いの場の情報収集に取り組み、アプリの構築が完了した。 生活支援：69地点、通いの場：250地点 ・高齢者のためのGO！つながる情報紙 令和6年度の初版から掲載情報の追加、更新等を行い、2回発行した。 1回目：300部、2回目：400部 配布先：社協支会、民生委員、介護事業所、地域包括支援センター、コミセンなど ○通いの場への参加や交流が難しい人の把握、生きいき手帳及び介護予防ポイントの普及 通いの場への参加や交流が難しい人については、ふれあいサロン報告書によって把握した。生きいき手帳及び介護予防ポイントの普及については、ふれあいサロンから手帳およびシールの在庫の問い合わせを受けた際に手帳およびシールを手交した。 ○みんなの情報カフェ 地域のつながり活動を情報共有するために企画、実施した。 開催日：9月5日（金）、参加者：35名、内容：住民等による生活支援、介護予防活動の事例発表 ○協議体の開催

	生活支援コーディネーターのコーディネート業務を支援し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進することを目的に協議体を開催した。 開催：1回（桜江地区、10月29日（水）、議題：江津市桜江町小さな拠点づくりモデル事業アンケート調査結果報告（島根県中山間地域研究センター）、買物バスの進捗状況、生活支援コーディネーターからの課題提起（草刈り、移動支援、認知症）
備 考	

Ⅱ 地域福祉を展開する地域づくり

(1) 地域福祉活動の体制づくり

事業名	① 高齢者等生活支援体制整備事業【再掲6頁記載 I-(2)-④参照】
-----	------------------------------------

事業名	② 民間助成事業の利用支援【再掲5-6頁記載 I-(2)-③参照】
-----	-----------------------------------

事業名	③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協地区支会活動助成（共同募金助成事業）〕
事業内容	小地域の誰もが安心して暮らせるよう、援助を要する人たちの把握と見守り、声かけを基本とした個別援助活動、ふれあいサロン、老人給食、子育てサロンなどの集団援助活動などを支援する。社協地区支会に関する運営費の支援は、社協会費の実績額に応じて助成金を交付する。また、活動費は、江津市共同募金委員会から助成金を交付する。
対象者	社協地区支会（支会長）及び地域福祉に関わるボランティア団体等住民全般
成果等	○23地区社協活動により、地域福祉活動とネットワークの充実に貢献し、小地域の福祉の充実に大きな役割を果たしている。 ○社協地区支会（23支会）の助成金交付について ・運営費：532,359円（総額）、活動費：3,794,000円（総額）
備 考	

事業名	③ 地域介護予防活動支援事業（江津市受託事業）												
事業内容	○家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を通して、社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防する。 (1) 定期的な訪問、声かけ運動 生活・福祉課題を早期に発見し、必要とする支援につなげる。 (2) ふれあいサロン 交流会・懇談会等、各社協支会（または各サロン）において月1～2回程度開催。 ○小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会の開催（事業のあり方等の検討）												
対象者	○概ね65歳以上の高齢者 ○実施者：小地域支援ネットワーク推進会（社協支会、民生委員・児童委員、婦人会、健康づくり推進会、ボランティア等）												
成果等	○定期的な訪問、声かけ運動によって把握した内容は、江津市高齢者障がい者福祉課へ報告、共有した。 ○ふれあいサロン（令和7年度実績） <table border="1"> <tr> <td>サロン数</td><td>64か所〔江津地区〕（前年度比 6か所増）</td></tr> <tr> <td>実施回数</td><td>1,661回（前年度比 157回増）</td></tr> <tr> <td>延べ参加者数</td><td>21,649人（前年度比 2,161人増）</td></tr> <tr> <td>実人数（推定）※1</td><td>1,335人</td></tr> <tr> <td>65歳以上人口 ※2</td><td>7,916人</td></tr> <tr> <td>参加率（推定）</td><td>16.86%（＝実人数÷65歳以上人口）</td></tr> </table> ※1：実人数は各ふれあいサロンの参加人数のうち、最も参加人数の多かった月の人数を実人数として扱っている。	サロン数	64か所〔江津地区〕（前年度比 6か所増）	実施回数	1,661回（前年度比 157回増）	延べ参加者数	21,649人（前年度比 2,161人増）	実人数（推定）※1	1,335人	65歳以上人口 ※2	7,916人	参加率（推定）	16.86%（＝実人数÷65歳以上人口）
サロン数	64か所〔江津地区〕（前年度比 6か所増）												
実施回数	1,661回（前年度比 157回増）												
延べ参加者数	21,649人（前年度比 2,161人増）												
実人数（推定）※1	1,335人												
65歳以上人口 ※2	7,916人												
参加率（推定）	16.86%（＝実人数÷65歳以上人口）												

	※2：令和2年国勢調査小地域集計より、桜江町を除く江津市内の65歳以上の人口を算出。 ○通いの場への参加促進を図るための課題として、運転免許返納や、公共交通空白地に居住している等の理由により、ふれあいサロン（通いの場）への参加が難しい対象者が存在していることを、ふれあいサロン報告書から確認できた。移動手段のない高齢者を自家用車に乗せて、ふれあいサロンに参加してもらいたいといった声はあるが、ガソリン代や保険、白タク行為を心配し送迎を実施できていない地区がある。3月に開催した小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会において、送迎にかかるガソリン代の実費分は本事業費から支出ができること、送迎に関するボランティア保険があること、国土交通省が白タク行為にならない範囲での自家用車による送迎を認めていることを周知した。
備考	桜江地区については、市がさくらえいきいきワーカーの協力を得て直接実施しているため、上記実績は旧江津市地域でのもの。

事業名	⑤障がい者サロン（愛称：ひだまりサロン）の開催
事業内容	○江津市（高齢者障がい者福祉課）、江津市障がい児・者基幹相談支援センター島根整肢学園、江津市障がい者協会などと連携、協働して、障がいのある方々の交流の場（居場所）になるサロンを開催する。
対象者	市内の障がいのある方々をはじめとする一般市民
成果等	○地域とのつながりが弱い傾向にある障がいのある方々が、悩みごとや心配ごとを抱え込み、ひきこもりや生活困窮に陥らないように、障害者週間の期間中に「地域でつながる居場所・サロン」を開催して、障がいのある方を基軸に高齢者や子育て世代など一般市民との交流の場（居場所）を、以下のとおり実施した。 ・日時 令和8年3月8日（日）10：00～12：00 ・会場 パレットごうつ2階会議研修室1・2 ・内容 障がいのある方々と一般市民が障がいを知りつなげるため「食」をテーマに、障がい福祉サービス事業所による軽食提供やニュースポーツ体験、また、困りごと相談ができる交流イベント ・おしるこ200食【江津市社会福祉協議会】 ・コーヒー100杯、どら焼き50個【ワークくわの木江津事業所（社会福祉法人いわみ福祉会）】 ・シフォンケーキ100食【さくらんぼのお家】 ・ポップコーン100袋【江津コンクリート工業レッツビギン】 ・トマト20食、トマトジュース20本【江津コンクリート工業アグリプラント甲斐の木】 ニュースポーツ体験コーナー（スカットボール、輪投げ） 木製キーホルダー作り（ポリテクカレッジ島根） 視線コンピューター（島根整肢学園西部島根医療福祉センター） ・主催：江津市社会福祉協議会、江津市障がい者協会 ・共催：江津市障がい児・者基幹相談支援センター島根整肢学園、江津市 ○地域の障がいのある方々が、高齢者、子育て世代などあらゆる人々と出会い、交流やつながる機会ができた。また、サロンを通じて、日頃の不安や悩みなどを相談できる場もあり、ひきこもりや生活困窮に陥らない取り組みの一端とすることができた。 ○一般市民の参加者が、障がいのある方々との交流から当事者（障がい）について知り、理解を深めていただく機会になった。
備考	・同日、市内で複数のイベントが開催された影響で、来場者が少なかった。 課題：開催時期、周知方法等再検討が必要である。

事業名	⑥福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し
事業内容	地域の情報を共有するために、従来の福祉委員制度を見直し、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりについて検討を行う。 福祉委員のあり方検討会（平成26年度開催）の結果を踏まえ、地域の見守り活動を通じて、ひ

	きこもりや生活困窮状態にある人などを、必要に応じて民生委員・児童委員や社会福祉協議会等へのつなぎ役を担うなど、福祉委員の役割や位置付けを明確にする。
対象者	福祉委員（社会福祉協議会各支会長、各自治会長等）
成果等	○江津市連合自治会長協議会との同意内容（平成 18 年 7 月 18 日付）に基づき、連合自治会長等に対して、社協が実施する地域福祉の推進について支援していただくようお願いした。 ○各地域の支会長と自治会長を「福祉委員」として委嘱状を交付した。また、委嘱状の交付に伴い、福祉委員の役割や活動概要について書面による明示（説明）を行った。 ○都治支会が江津市地域福祉学習推進モデル事業（<u>詳細</u> 2-3 頁記載 I-(1)-②）において福祉委員についての取り組みを 2 年にわたって行う。1 年目となる本年度は学習会を 2 回実施した。
備考	課題：福祉委員の委嘱状の交付と併せて、福祉委員の役割などの書面による明示（説明）を、継続して行っているが、地域差はあるものの特に自治会長においては、毎年交代するところもあり、また、自治会長の負担過大から福祉委員が敬遠されその理解がなかなか進まない。

事業名	⑦江津市社会福祉法人連絡会の活動推進
事業内容	社会福祉法人には、高い公共性や公益性が求められるなか、社協が中心となって市内の社会福祉法人・福祉施設と連携・協働して、地域福祉の輪を広げ、制度の狭間にある地域の課題に積極的に対応していくこととしている。
対象者	本会を含む市内 11 社会福祉法人
成果等	○ボランティアに関連する講演会の開催 本協議会と共催でボランティア研修会を開催した。 ・日 時 令和 8 年 3 月 14 日（土）14:00～15:40 ・会 場 江津市地場産業振興センター 3 階 ホール ・講 演 認知症が私たち家族にくれたギフト 「ぼけますから、よろしくお願いします。」 講師：映画監督、TVディレクター 信 友 直 子 氏 参加者 ボランティア団体、社協支会、民事協、社会福祉法人連絡会の関係者等 145 人 （その内社会福祉法人連絡会から 4 人） ○福祉に関連する講演会の開催 本協議会の講演会が、計画されなかったため開催していない。 ○福祉ふれあいチャリティーバザーへの協力
備考	

事業名	⑧市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）
事業内容	江津市内の敬老活動を支援する事業（敬老会等の開催の支援）で、一地区（支会）あたり 10,000 円を支援する。
対象者	江津市内の高齢者
成果等	市内 23 地区の敬老行事関係経費等の一部に充当された。
備考	

(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり

事業名	①災害ボランティアセンターの体制整備
事業内容	災害時において、被災者が一日も早く元の生活に戻れるよう、関係諸機関との連携のもと、ボランティアの募集・調整・派遣など必要な支援を行う。 また、平常時においては、災害時に効果的・効率的に災害ボランティア活動が行えるよう体制整備を行う。
対象者	被災者、ボランティア、関係諸機関

成果等	○災害ボランティアセンター運営強化を目指した Kintone 内部研修会を実施し、職員のスキル向上を図った。 ○災害用資機材を常備しており、すぐに対応できる状況にある。また、資機材の在庫に関して県社協と共有しており、県内で災害が起こった場合はすぐに貸し出すことができる。
備 考	

事業名	②災害ボランティアの養成
事業内容	災害時のボランティア活動に必要な知識や技術について、講習や訓練を行い、災害ボランティアを養成する。
対象者	市民
成果等	○島根県社会福祉協議会主催のしまね災害福祉支援センター設置記念イベント災害福祉支援啓発フォーラムに支会長、民生委員、職員で参加した。
備 考	

事業名	③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成
事業内容	災害時にボランティアの受け入れや活動先の調整などが円滑に行われるよう、災害ボランティアコーディネーター養成研修会等への参加により市民・職員資質の向上を図る。
対象者	市民・本協議会職員
成果等	○以下の研修に参加し、職員資質の向上を図った。 ・災害ボランティアセンター運営基盤強化研修(1 回目) 【課長 1 名、職員 2 名】 ・災害ボランティアセンター運営基盤強化研修(2 回目) 【課長 1 名、職員 2 名】 ・災害ボランティアセンター運営強化を目指した Kintone 職員研修会 【職員全員】 ・災害ボランティアセンター運営マネジメント研修(2 日間実施) 【事務局長】
備 考	

事業名	④ 地域介護予防活動支援事業【再掲 7-8 頁記載 II-(1)-④参照】
-----	---------------------------------------

事業名	⑤防犯・見守り活動
事業内容	○防犯の取り組み ・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の趣旨にのっとり、江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会が連携して、特殊詐欺や悪質商法の被害防止活動などの安全安心なまちづくりに関する活動を推進する。 ○見守り活動の取り組み ・家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を実施し、社会的孤立の解消や、福祉ニーズの早期発見を図る。 ・認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に、早期に発見、保護できるよう努める。
対象者	市民
成果等	○防犯の取り組み ・支会などが開催しているふれあいサロン等の中で、警察署員を講師として「特殊詐欺被害防止」についての講話を聴く機会を設け、防犯活動につなげた。 ・歳末声掛けボランティア訪問事業の際に、江津市防犯自治会・江津地区安全運転管理者協会・

	江津警察署が作成した特殊詐欺被害防止のPRカード（裏面は交通事故防止のPR）を配布した。 ○見守り活動の取り組み ・地域介護予防活動支援事業において、定期的な訪問活動とふれあいサロンを実施 (詳細 7-8 頁記載 II-(1)-④) ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク「ほっと江津！」に連携事業所として参画
備 考	平成 27 年 10 月 13 日に江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会の 3 者で「犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(1) 重層的支援体制整備事業の推進

事業名	① 地域介護予防活動支援事業【再掲 7-8 頁記載 II-(1)-④参照】
-----	---------------------------------------

事業名	②生活支援まごころフレッシュサービス事業																								
事業内容	○有償ボランティア派遣事業（生活支援まごころフレッシュサービス協力会員、利用会員、賛助会員募集） ○住民同士の助けあいを基本として、日常生活支援、援助を必要とする人、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービス。																								
対象者	○協力会員（江津市内在住でサービスの実務を担当する 20 歳以上の方） ○利用会員（江津市内に在住または居留し、日常生活に色々なサービスを必要とする方） ○賛助会員（労力の提供は出来ないが、財源の協力のみ出来る方）																								
成果等	○令和 7 年度実績 <table><tr><td rowspan="3">会員数</td><td>協力会員</td><td>20 名</td><td>（前年度比 4 名増）</td></tr><tr><td>利用会員</td><td>42 名</td><td>（前年度比 4 名増）</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>1 名</td><td>（今年度 1 名増）</td></tr><tr><td colspan="2">延べ利用件数</td><td>270 件</td><td>（前年度比 13 件増）</td></tr><tr><td colspan="2">協力会員延べ活動日数</td><td>930 日</td><td>（前年度比 105 日増）</td></tr><tr><td colspan="2">協力会員延べ活動時間</td><td>986 時間</td><td>（前年度比 115 時間減）</td></tr></table> ※利用会員の会員数は、登録者のうち当年度に事業を利用した人の数			会員数	協力会員	20 名	（前年度比 4 名増）	利用会員	42 名	（前年度比 4 名増）	賛助会員	1 名	（今年度 1 名増）	延べ利用件数		270 件	（前年度比 13 件増）	協力会員延べ活動日数		930 日	（前年度比 105 日増）	協力会員延べ活動時間		986 時間	（前年度比 115 時間減）
会員数	協力会員	20 名	（前年度比 4 名増）																						
	利用会員	42 名	（前年度比 4 名増）																						
	賛助会員	1 名	（今年度 1 名増）																						
延べ利用件数		270 件	（前年度比 13 件増）																						
協力会員延べ活動日数		930 日	（前年度比 105 日増）																						
協力会員延べ活動時間		986 時間	（前年度比 115 時間減）																						
備考	・掃除の依頼は多いが、令和 8 年 1 月以降、依頼に応えることが出来ず待機の状況である。 ・活動時間の減少は、比較的短時間の活動依頼が増えた為。																								

事業名	③和光園ふれあい講座の開催（共同募金助成事業）			
事業内容	○主に市内の高齢者を対象として、高齢者相互のふれあいと健康、社会知識、教養を高めるための講座を開催する。 ○和光園ふれあい講座運営審議委員会の開催（開催回数を含む今後の内容等について審議）			
対象者	高齢者（老人クラブ会員等）、和光園ふれあい講座に関心のある人			
成果等	○開催状況			
	講座	開催日	内 容	受講者
	第1回	11/14	みんなで歌おう！ 歌声サロン 懐かしい歌で心が元気に！	29 名
	第2回	2/27	食べ物で心と体はつくられる！元気の秘訣、お伝えします。	66 名
	・受講者数 95 名（前年度比 15 名増）			
	○2 回/年開催。			
備考				

事業名	④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）
事 業	年末に市内 80 歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦共 80 歳以上の高齢者に見舞品（フリーズドラ

内 容	イ味噌汁セット)を持って声かけ訪問をする。											
対象者	80 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯並びに夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯											
成果等	○江津市ボランティアセンター登録会員のボランティア活動推進と対象者宅訪問により、健康確認（安否確認）に貢献した。 ○令和 7 年度実績 (1)実施日 令和 7 年 12 月 19 日（金） (2)活動者 ボランティア・民生委員・児童委員・社協支会長等 200 余名 (3)対象者 <table><tr><td>80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯</td><td>752 世帯</td><td>（前年度比 43 世帯減）</td></tr><tr><td>夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯</td><td>285 世帯</td><td>（前年度比 15 世帯増）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,037 世帯</td><td>（前年度比 58 世帯減）</td></tr></table> フリーズドライの味噌汁 8 個入り 1 箱持参。			80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯	752 世帯	（前年度比 43 世帯減）	夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯	285 世帯	（前年度比 15 世帯増）	合 計	1,037 世帯	（前年度比 58 世帯減）
80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯	752 世帯	（前年度比 43 世帯減）										
夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯	285 世帯	（前年度比 15 世帯増）										
合 計	1,037 世帯	（前年度比 58 世帯減）										
備 考	・対象世帯数は、入院や施設入所等により大きく減少した。											

事業名	⑤骨髄バンク基金事業		
事 業 内 容	江津市に住所を有し、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳に記録されている人のうち、次のいずれかに該当する人。 (1) 骨髄移植を受けた人（ただし、骨髄移植後 1 年以内の申請に限る。また、この期間中に死亡した場合も対象とする。） (2) 1 ヶ月以内に骨髄移植を受ける予定の人（ただし、申請後、骨髄移植予定日までに死亡した場合も対象とする。）		
対象者	江津市に住所を有し、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳に記録されている人のうち、次のいずれかに該当する人。 (1) 骨髄移植を受けた人（ただし、骨髄移植後 1 年以内の申請に限る。また、この期間中に死亡した場合も対象とする。） (2) 1 ヶ月以内に骨髄移植を受ける予定の人（ただし、申請後、骨髄移植予定日までに死亡した場合も対象とする。）		
成果等	令和 7 年度実績：見舞金支給 1 件（前年度比 1 件増）		
備 考	残り基金枠 1,030,000 円（R8.3.31 現在）		

事業名	⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）		
事 業 内 容	福祉関係団体の諸事業（例 社協支会が行うサロン事業 市内老人クラブの研修旅行、市内保育所の遠足行事等）を推進するためにマイクロバスを運行する。このことにより、地域福祉事業の幅を広げ、変化に富んだ事業の推進に寄与する。		
対象者	福祉関係団体（福祉バス運行事業実施要項に基づく 17 団体）、江津市役所、その他会長の承認を得た団体		
成果等	○令和 7 年度実績 ・利用件数 93 件（前年度比 8 件減） ・利用者数 延べ 1,482 名（前年度比 170 名減） ○児童、高齢者、障がいのある人等に利用され、地域福祉活動に役立てられた。		
備 考	・燃料代は利用者が負担する。 ・土日祝の運行は月 2 回以内で利用可能である。		

事業名	⑦生活福祉資金貸付事業		
事 業 内 容	収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員・児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で運営して		

	いる貸付制度。 (1)実施主体 島根県社協 (2)限度額 35,000 円～5,800,000 円（資金の種類により異なる） (3)償還期間 12 ヶ月～20 年以内（資金の種類により異なる） (4)償還関係業務 長期滞納の場合、その理由等の確認（場合によっては島根県社協による現地督励会の開催も調整）									
対象者	○低所得世帯…資金の貸付により独立自活できると認められる世帯であって、資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯 ○障がい者世帯…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯 ○高齢者世帯…日常生活上療養又は介護を要する高齢者（65 歳以上）の属する世帯									
成果等	○令和7年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>1 件</td><td>前年度比 2 件減 内訳 教育支援資金 1 件</td></tr><tr><td>新規貸付分の貸付元金</td><td>463,000 円</td><td>(前年度比 263,000 円増)</td></tr><tr><td>貸付件数 (R8. 3. 31 現在)</td><td>93 件</td><td>(前年度比 13 件減) 内訳 本則貸付分 60 件 特例貸付分 33 件</td></tr></table>	新規貸付件数	1 件	前年度比 2 件減 内訳 教育支援資金 1 件	新規貸付分の貸付元金	463,000 円	(前年度比 263,000 円増)	貸付件数 (R8. 3. 31 現在)	93 件	(前年度比 13 件減) 内訳 本則貸付分 60 件 特例貸付分 33 件
新規貸付件数	1 件	前年度比 2 件減 内訳 教育支援資金 1 件								
新規貸付分の貸付元金	463,000 円	(前年度比 263,000 円増)								
貸付件数 (R8. 3. 31 現在)	93 件	(前年度比 13 件減) 内訳 本則貸付分 60 件 特例貸付分 33 件								
備考	特例貸付は、令和2年3月25日より申込受付開始、令和4年9月30日申込受付終了。 *特例貸付：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の貸付									

事業名	⑧民生基金貸付事業														
事業内容	○江津市内に居住する低所得者に対し、生活に緊急的に必要な一定の資金を一時的に貸し付け、自立生活を支援する。 ○資金の種類 生活を営むのに必要な経費、生業を営むのに必要な経費、医療のために必要な経費、教科書代・修学旅行に必要な経費、家屋補修に必要な経費、高額な医療費支払のために必要な経費、急迫状態にある生活困窮者等に対し、緊急かつ一時的に必要な経費 (1) 償還期間 12 ヶ月以内（高額療養費、緊急小口資金は概ね 3 ヶ月以内） (2) 利子は無利子 (3) 償還関係業務：償還金の受入、滞納者への督促(場合によっては償還指導会の開催) (4) 限度額 10,000～300,000 円														
対象者	江津市内に居住する低所得者（連帯保証人 1 名必要、緊急小口資金は不要）														
成果等	○令和 7 年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>4 件</td><td>前年度比 2 件増</td></tr><tr><td>新規貸付金額</td><td>115,000 円</td><td>前年度比 95,000 円増</td></tr><tr><td>貸付中の件数（R8. 3. 31 現在）</td><td>15 件</td><td>前年度比増減なし</td></tr><tr><td>償還残額（R8. 3. 31 現在）</td><td>975,540 円</td><td>前年度比 105,000 円減</td></tr></table>			新規貸付件数	4 件	前年度比 2 件増	新規貸付金額	115,000 円	前年度比 95,000 円増	貸付中の件数（R8. 3. 31 現在）	15 件	前年度比増減なし	償還残額（R8. 3. 31 現在）	975,540 円	前年度比 105,000 円減
新規貸付件数	4 件	前年度比 2 件増													
新規貸付金額	115,000 円	前年度比 95,000 円増													
貸付中の件数（R8. 3. 31 現在）	15 件	前年度比増減なし													
償還残額（R8. 3. 31 現在）	975,540 円	前年度比 105,000 円減													
備考	課題：償還期限経過後の償還残額については、滞納者への督促及び償還見込みについて検討する。														

事業名	⑨ふれあい福祉センター総合相談事業
事業内容	○市民の様々な心配ごと相談に応じ、問題の所在を明らかにした適切な解決を図り、安心した生活と福祉の向上に寄与する。 (1)法律相談（弁護士）・・・毎月 1 回 法律に関することについて（相談時間：30 分以内） (2)一般相談（司法書士、民生委員・児童委員）・・・江津会場 1 回/月、桜江会場 1 回/2 カ月 日常生活上のいろいろな心配ごと・悩みごとについて（相談時間：45 分以内） (3)福祉相談（センター担当職員）・・・平日

	福祉サービス・専門相談機関の紹介や、いろいろな心配ごと・悩みごとについて ○ふれあい福祉センター運営委員会の開催（相談事業のあり方について検討）																						
対象者	市民（市外からも受け入れる場合がある）																						
成果等	○令和7年度実績 <table><tr><td rowspan="2">法 律 相 談 (12 回 中 12 回 開 催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>37 件 (前年度比 12 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>38 名 (前年度比 16 名減)</td></tr><tr><td rowspan="2">一 般 相 談 (18 回 中 15 回 開 催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>25 件 (前年度比 5 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>28 名 (前年度比 9 名減)</td></tr><tr><td rowspan="2">福 祉 相 談 (平 日)</td><td>取 扱 件 数</td><td>12 件 (前年度比 70 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>12 名 (前年度比 79 名減)</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>取 扱 件 数</td><td>74 件 (前年度比 87 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>78 名 (前年度比 104 名減)</td></tr></table> ※一般相談は、予約なしのため6回中止（江津会場3回、桜江会場3回）となった。			法 律 相 談 (12 回 中 12 回 開 催)	取 扱 件 数	37 件 (前年度比 12 件減)	相 談 利 用 者 数	38 名 (前年度比 16 名減)	一 般 相 談 (18 回 中 15 回 開 催)	取 扱 件 数	25 件 (前年度比 5 件減)	相 談 利 用 者 数	28 名 (前年度比 9 名減)	福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	12 件 (前年度比 70 件減)	相 談 利 用 者 数	12 名 (前年度比 79 名減)	合 計	取 扱 件 数	74 件 (前年度比 87 件減)	相 談 利 用 者 数	78 名 (前年度比 104 名減)
法 律 相 談 (12 回 中 12 回 開 催)	取 扱 件 数	37 件 (前年度比 12 件減)																					
	相 談 利 用 者 数	38 名 (前年度比 16 名減)																					
一 般 相 談 (18 回 中 15 回 開 催)	取 扱 件 数	25 件 (前年度比 5 件減)																					
	相 談 利 用 者 数	28 名 (前年度比 9 名減)																					
福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	12 件 (前年度比 70 件減)																					
	相 談 利 用 者 数	12 名 (前年度比 79 名減)																					
合 計	取 扱 件 数	74 件 (前年度比 87 件減)																					
	相 談 利 用 者 数	78 名 (前年度比 104 名減)																					
備 考																							

事業名	⑩福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し【再掲8-9頁記載 II-(1)-⑥参照】
-----	---

事業名	⑪高齢者等生活支援体制整備事業【再掲6-7頁記載 I-(2)-④参照】
-----	-------------------------------------

事業名	⑫生活困窮者自立相談支援事業
事業内容	令和5年度から本事業は本協議会とワーカーズコープの共同事業体「江津市自立できる地域づくり共同事業体」が設置している「生活支援相談センターごうつ」が、江津市からの受任事業として住居確保給付金・一時生活支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業・認定就労訓練事業・自立相談支援事業による就労支援に取り組んでいる。毎月開催される支援調整会議において、プラン兼事業等の利用について協議し、相談者の自立を支援している。

(2) 情報提供体制の充実

事業名	①広報紙の発行およびホームページの更新
事業内容	広報紙の発行およびホームページやInstagramにより、本協議会の業務及びサービスや福祉に関する情報を市民にわかり易く提供する。また、視覚に障がいのある方に対しては、広報紙を点訳・音訳して提供する。
対象者	市民、その他関連福祉団体等
成果等	○広報紙「ごうつ社協」発行 年5回（前年度比 増減なし） ○ホームページの更新 年41回（前年度比 6回減） ○Instagramの更新 年41回（前年度比 なし）
備考	・点訳と音訳作業は、島根県西部視聴覚障害者情報センター（いわみーる内）を通じて、「点訳ボランティア窓の会」「声のボランティアひびきの会」に無償で協力を得ている。 ・関連団体の日本赤十字社、共同募金、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会の情報も掲載している。 ・情報発信のツールとして、Instagramを令和7年7月から開設した。なお、Instagram開設周知の広報として、「ごうつ社協」本会ホームページ、しまそこホームページに掲載した。

事業名	②広報紙の点訳および音訳による情報提供【詳細5頁記載 I-(2)-②】
-----	-------------------------------------

(3) 生活困窮者自立支援事業の推進

事業名	① 生活困窮者自立相談支援事業【再掲 14 頁記載 III-(1)-⑫参照】
-----	--

事業名	②緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）												
事業内容	市民や関係機関・団体などから提供された食料をフードバンクとして備蓄し、これを生活が窮乏状態となった者に対し一時的に食料を提供することで、当該生活困窮者の自立と生活再建を図る。（備蓄した食料の中から一人当たり最大3食分の食料を、3日分以内で提供する。特別事情があるときは食料提供期間の延長が可能） また、当事業への指定寄付も受け付け可能。												
対象者	次の全てに該当する者 ①現に江津市内に居住している者 ②生活支援相談センターごうつの支援対象者 ③生活困窮により食料の確保が困難で生命の安全が脅かされている状態にある者												
成果等	○緊急一時食糧支援の実績 ・利用件数 19件【前年度比 1件増】 ※利用件数は減っているが、希望者には対応している。 ○食料等の寄付状況 <table><tr><td>時 期</td><td>寄贈件数</td><td>寄贈点数</td></tr><tr><td>4月～1月</td><td>24件（5件増）</td><td>900点（398点増）</td></tr><tr><td>2月～3月</td><td>11件（1件増）</td><td>610点（115点減）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>35件（11件増）</td><td>1,510点（283点減）</td></tr></table> ※2月の本協議会広報紙で食料の提供を呼びかけて集めたほか、年間を通じて継続的に食品を寄贈していただいた団体もあり、多くの食品が集まった。	時 期	寄贈件数	寄贈点数	4月～1月	24件（5件増）	900点（398点増）	2月～3月	11件（1件増）	610点（115点減）	合 計	35件（11件増）	1,510点（283点減）
時 期	寄贈件数	寄贈点数											
4月～1月	24件（5件増）	900点（398点増）											
2月～3月	11件（1件増）	610点（115点減）											
合 計	35件（11件増）	1,510点（283点減）											
備 考													

事業名	③生活困窮者日用品等提供事業
事業内容	日常生活を送るのが困難な人に対し、①衣料品、②寝具、③日用品などを提供し、自立生活を支援する。
対象者	市民等
成果等	・利用件数 1件（前年度比1件増） 内訳（重複の場合あり） ① 衣料品・・・0件（前年度比 増減なし） ② 寝具・・・0件（前年度比 増減なし） ③ 家電・・・4件（前年度比4件増） ③ 日用品・・・6件（前年度比6件増）
備 考	提供する品物は、チャリティーバザーの残品や、施設入所等により空き家状態となるような家庭からの提供品

事業名	④入居債務保証支援事業
事業内容	賃貸住宅に入居する際の入居保証人が確保できない者について、本協議会が、家主又は不動産業者と入居に関する債務保証契約を締結することにより住居の確保を支援し、地域生活への移行や生活再建の基盤を支える。本事業の利用希望があった場合、その旨を浜田宅建センター江津支部へ、賃貸住宅の情報提供依頼を行う。提供された情報をもとに、入居希望の賃貸住宅があった場合、その所有者（賃貸人）、利用者、本協議会の間で利用契約を締結。 ・利用期間（契約期間） 2年間とし更新が可能 ・利用料 15,000円（一括または分割して本協議会へ納付） ※本協議会に納付された利用料全額は、入居債務保証金として島根県社協へ組み入れる ・保証の対象は次のとおり

	(1) 滞納家賃（月額家賃の最大3ヶ月分） (2) 退去に伴う原状回復にかかる費用（月額家賃の2か月分） ※上記（1）の月額家賃は、生活保護制度における江津市の住宅扶助費を上限額とする（条件を満たせば特別基準額が適用となる場合もある） ・保証が必要になった場合は、本協議会から島根県社協に対し保証額の請求を行う
対象者	次の全てに該当する者 ①本事業を利用して自立した日常生活を送ることが期待でき、市内の賃貸住宅に入居を希望する者 ②家賃等について継続的に支払いができるにも関わらず、入居保証人の確保ができないため賃貸住宅への入居が困難な者 ③世帯の収入が住民税非課税相当以下の者
成果等	○令和7年度実績 0件（前年度比 増減なし）
備考	

(4) 地域福祉に関する基盤整備

事業名	① 福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲12頁記載 III-(1)-⑥参照】
-----	---

事業名	② 社協地区支会との連携強化と活動の活性化【再掲7頁記載 II-(1)-③参照】
-----	--

事業名	③ 民間助成事業の利用支援【再掲5頁記載 I-(2)-③参照】
-----	---------------------------------

事業名	④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）																									
事業内容	地域福祉団体の活動が円満に進み、地域福祉の充実が図られるよう、香典返しを原資とした基金から毎年関係団体に助成している。なお、この交付団体の選定にあたっては、「社会福祉活動基金委員会」の審議を経て決定している。																									
対象者	市内の福祉関係団体																									
成果等	○令和7年度助成実績【8団体、総額 3,456,868円】（前年度比 32,868円増） <table border="1" data-bbox="306 1279 1203 1610"> <tr> <td>①</td><td>江津市社会福祉協議会</td><td>2,666,868円</td></tr> <tr> <td>②</td><td>江津市民生児童委員協議会</td><td>300,000円</td></tr> <tr> <td>③</td><td>江津市老人クラブ連合会</td><td>100,000円</td></tr> <tr> <td>④</td><td>江津市連合婦人会</td><td>90,000円</td></tr> <tr> <td>⑤</td><td>浜田地区保護司会江津分区</td><td>100,000円</td></tr> <tr> <td>⑥</td><td>江津市更生保護女性会</td><td>100,000円</td></tr> <tr> <td>⑦</td><td>江津市視覚障害者協会</td><td>50,000円</td></tr> <tr> <td>⑧</td><td>江津市保育研究会</td><td>50,000円</td></tr> </table>		①	江津市社会福祉協議会	2,666,868円	②	江津市民生児童委員協議会	300,000円	③	江津市老人クラブ連合会	100,000円	④	江津市連合婦人会	90,000円	⑤	浜田地区保護司会江津分区	100,000円	⑥	江津市更生保護女性会	100,000円	⑦	江津市視覚障害者協会	50,000円	⑧	江津市保育研究会	50,000円
①	江津市社会福祉協議会	2,666,868円																								
②	江津市民生児童委員協議会	300,000円																								
③	江津市老人クラブ連合会	100,000円																								
④	江津市連合婦人会	90,000円																								
⑤	浜田地区保護司会江津分区	100,000円																								
⑥	江津市更生保護女性会	100,000円																								
⑦	江津市視覚障害者協会	50,000円																								
⑧	江津市保育研究会	50,000円																								
備考	本協議会の助成金は福祉バスの運営費に充てられた。																									

事業名	⑤本協議会の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）	
事業内容	社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指し、絶えず、その方法について協議し、それを踏まえて活動するため、地域の各種団体や公私の社会福祉事業関係者等をもって組織されている。会費や補助金、寄附金等は、これらの福祉関係者の活動を支援するための会議等の旅費、交通費、また職員自ら地域福祉に従事するための人件費、事務所の諸経費等に充てており、法人の管理に必要とする事業の経費であるため、会費の使途についての理解と協力依頼及び補助金の要望等財源確保に努めている。	
対象者	市民、江津市民生児童委員協議会、江津市老人クラブ連合会、日赤島根県支部江津市地区、島根県共同募金会江津市共同募金委員会、その他関連福祉団体	

成果等	○主な収入財源の内訳 会費収入 7,531,100 円（前年度 7,728,870 円 前年度比 2.55%減） 会員世帯数 7,532 世帯 社協広報紙配布世帯に対する会員割合 7,532 世帯／8,750 世帯＝86.08% 江津市補助金 49,904,000 円（人件費 9 名分、会議室使用料等） 寄付金 3,493,410 円（香典返し寄付金等） ○主な事業 (1) 各種会議（正副会長会 5 回、理事会 5 回、評議員会 3 回、監査会 1 回） (2) 委員会等 14 回 (3) 社協広報紙発行費（5 回）、福祉バス運行費の一部、事務局維持費 (4) 江津市社会福祉協議会業務（決算額 63,723,718 円） (5) 事務局受託団体の事業を支援 ①江津市民生児童委員協議会支援業務 ②江津市老人クラブ連合会支援業務 ③江津市共同募金委員会業務全般 ④日赤島根県支部江津市地区業務全般 (6) その他関連福祉団体等の円滑な福祉活動の支援
課 題	

事業名	⑥研修会等への参加																																								
事業内容	各種研修会等へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図る。																																								
対象者	社協役職員																																								
成果等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5. 9</td><td>管理者のためのマネジメント研修（12：50～Zoom）【林事務局長】</td></tr> <tr> <td>5. 14</td><td>社会福祉法人会計実務研修（入門コース）（朱鷺会館 9：55～）【澤田権利擁護係長】</td></tr> <tr> <td>5. 15</td><td>生活困窮者自立相談支援機関「事例検討会」（朱鷺会館 10：00～）【澤田権利擁護係長、川上主事】</td></tr> <tr> <td>5. 27</td><td>災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】</td></tr> <tr> <td>6. 5</td><td>チーム力向上研修（上級編）（Zoom12：50～）【澤田権利擁護係長】</td></tr> <tr> <td>6. 11</td><td>日常生活自立支援事業新任専門員研修会（Zoom10：00～）【林事務局長、岡田主事】</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>日常生活自立支援事業専門員研修会（Zoom13：00～）【川上専門員】</td></tr> <tr> <td>6. 12</td><td>コミュニケーション力強化研修（いきいきプラザ 島根 9：55～）【岡田主事】</td></tr> <tr> <td>6. 16</td><td>災害福祉支援啓発フォーラム（くにびきメッセ 13：30～）【浅田課長、川上主任、青笹主事】</td></tr> <tr> <td>6. 18</td><td>災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】</td></tr> <tr> <td>6. 23</td><td>日常生活自立支援事業第 2 回専門員連絡会（Zoom13：30～）【岩崎担当職員、川上専門員】</td></tr> <tr> <td>6. 26</td><td>チーム力向上研修（上級編）後期（いきいきプラザ 島根 9.25～）【澤田権利擁護係長】</td></tr> <tr> <td>7. 3</td><td>生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>社会福祉法人指導監査説明会・研修会（浜田市総合福祉センター 13：30～）【藤田会長、石津監事、牛尾監事、林事務局長、岩崎課長】</td></tr> <tr> <td>7. 24</td><td>生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr> <tr> <td>7. 29～30</td><td>コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修（松江ホテル 10：20～）【岡田主事、田坂主事、盆子原主事】</td></tr> <tr> <td>8. 4</td><td>江津市人権・同和教育講演会（市民センター 13：30～）【理事 9 名、職員 6 名】</td></tr> <tr> <td>8. 5</td><td>市町村社協会会長会・研修会（ホテル白鳥 10：45～）【藤田会長】</td></tr> <tr> <td>8. 6</td><td>全国福祉教育推進員研修（オンライン 9：45～）【浅田課長、青笹主事】</td></tr> </tbody> </table>	月日	内 容	5. 9	管理者のためのマネジメント研修（12：50～Zoom）【林事務局長】	5. 14	社会福祉法人会計実務研修（入門コース）（朱鷺会館 9：55～）【澤田権利擁護係長】	5. 15	生活困窮者自立相談支援機関「事例検討会」（朱鷺会館 10：00～）【澤田権利擁護係長、川上主事】	5. 27	災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】	6. 5	チーム力向上研修（上級編）（Zoom12：50～）【澤田権利擁護係長】	6. 11	日常生活自立支援事業新任専門員研修会（Zoom10：00～）【林事務局長、岡田主事】	〃	日常生活自立支援事業専門員研修会（Zoom13：00～）【川上専門員】	6. 12	コミュニケーション力強化研修（いきいきプラザ 島根 9：55～）【岡田主事】	6. 16	災害福祉支援啓発フォーラム（くにびきメッセ 13：30～）【浅田課長、川上主任、青笹主事】	6. 18	災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】	6. 23	日常生活自立支援事業第 2 回専門員連絡会（Zoom13：30～）【岩崎担当職員、川上専門員】	6. 26	チーム力向上研修（上級編）後期（いきいきプラザ 島根 9.25～）【澤田権利擁護係長】	7. 3	生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】	〃	社会福祉法人指導監査説明会・研修会（浜田市総合福祉センター 13：30～）【藤田会長、石津監事、牛尾監事、林事務局長、岩崎課長】	7. 24	生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】	7. 29～30	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修（松江ホテル 10：20～）【岡田主事、田坂主事、盆子原主事】	8. 4	江津市人権・同和教育講演会（市民センター 13：30～）【理事 9 名、職員 6 名】	8. 5	市町村社協会会長会・研修会（ホテル白鳥 10：45～）【藤田会長】	8. 6	全国福祉教育推進員研修（オンライン 9：45～）【浅田課長、青笹主事】
月日	内 容																																								
5. 9	管理者のためのマネジメント研修（12：50～Zoom）【林事務局長】																																								
5. 14	社会福祉法人会計実務研修（入門コース）（朱鷺会館 9：55～）【澤田権利擁護係長】																																								
5. 15	生活困窮者自立相談支援機関「事例検討会」（朱鷺会館 10：00～）【澤田権利擁護係長、川上主事】																																								
5. 27	災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】																																								
6. 5	チーム力向上研修（上級編）（Zoom12：50～）【澤田権利擁護係長】																																								
6. 11	日常生活自立支援事業新任専門員研修会（Zoom10：00～）【林事務局長、岡田主事】																																								
〃	日常生活自立支援事業専門員研修会（Zoom13：00～）【川上専門員】																																								
6. 12	コミュニケーション力強化研修（いきいきプラザ 島根 9：55～）【岡田主事】																																								
6. 16	災害福祉支援啓発フォーラム（くにびきメッセ 13：30～）【浅田課長、川上主任、青笹主事】																																								
6. 18	災害ボランティアセンター運営基盤強化研修（くにびきメッセ 10：00～）【浅田課長、青笹主事、盆子原主事】																																								
6. 23	日常生活自立支援事業第 2 回専門員連絡会（Zoom13：30～）【岩崎担当職員、川上専門員】																																								
6. 26	チーム力向上研修（上級編）後期（いきいきプラザ 島根 9.25～）【澤田権利擁護係長】																																								
7. 3	生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】																																								
〃	社会福祉法人指導監査説明会・研修会（浜田市総合福祉センター 13：30～）【藤田会長、石津監事、牛尾監事、林事務局長、岩崎課長】																																								
7. 24	生活支援コーディネーター養成研修・情報交換会（浜田合庁 10：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】																																								
7. 29～30	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修（松江ホテル 10：20～）【岡田主事、田坂主事、盆子原主事】																																								
8. 4	江津市人権・同和教育講演会（市民センター 13：30～）【理事 9 名、職員 6 名】																																								
8. 5	市町村社協会会長会・研修会（ホテル白鳥 10：45～）【藤田会長】																																								
8. 6	全国福祉教育推進員研修（オンライン 9：45～）【浅田課長、青笹主事】																																								

	8. 21	ふくしの学び合い推進セミナー（オンライン 10：00～）【川上主任、青笹主事、盆子原主事、岩崎 SC】
	〃	SC カフェ 23（オンライン 13：00～）【盆子原 SC】
	9. 4	災害ボランティアセンター職員勉強会（パレットごうつ 13：15～）【藤田会長、全職員】
	9. 11	労務管理研修（Zoom12：55～）【林事務局長、岩崎課長】
	9. 20	石見法律相談センター研修会（サマリ浜田 10：00～）【川上主任】
	9. 26	生活支援共創プラットフォーム第 2 回シンポジウム（オンライン 13：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】
	9. 29	あいさつポートメッセージ養成研修（大田市民センター 13：00～）【盆子原 SC、桑原 SC、岩崎 SC】
	10. 7～8	社協トップ ミーティング（パレットごうつ 14：30～）【藤田会長、内田副会長、鹿森副会長、林事務局長】
	10. 9	生活困窮者自立支援機関情報交換会・課題別勉強会（Zoom14：00～）【澤田係長、川上主任、青笹主事、岡田主事】
	10. 16	江津市男女共同参画講演会（パレットごうつ 13：30～）【青笹主事、岡田主事、田坂主事、武田職員】
	10. 3～31	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修（松江テルサ 10：20～）【岡田主事、田坂主事、盆子原主事】
	11. 4	日常生活自立支援事業生活支援員研修（いわみーる 11：00～）【生活支援員、岡田専門員】
	11. 13	社協広報研修（いわみーる 9：30～）【澤田係長】
	11. 15	ボランティアコーディネーション 3 級検定 in 島根（松江テルサ 10：00～）【桑原 SC、岩崎 SC】
	11. 20	福祉サービス苦情解決研修会（Zoom13：30～）【岩崎課長、田坂主事】
	11. 27	島根県中山間地域研究センタースキルアップ研修（山口市 13：00～）【盆子原主事】
	11. 28	メンタルヘルズ研修（一般職コース）（Zoom9：20～）【松本主事】
	11. 28	社会教育活動実践発表研修会（オンライン 9：50～）（江津少年自然の家）【SC3 名】
	〃	あいさつポートメッセージフォローアップ研修（オンライン 13：30～）【SC3 名】
	12. 1～2	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修（松江テルサ 13：00～）【林事務局長】
	12. 2	メンタルヘルズ研修（管理職コース）（Zoom9：20～）【浅田課長】
	12. 3～4	社協職員研修（基礎）（松江テルサ 9：55～）【盆子原主事】
	12. 8	リスクマネジメント研修（一般職コース）（Zoom9：20～）【松本主事】
	12. 10	リスクマネジメント研修（管理職コース）（Zoom9：20～）【浅田課長】
	12. 15	社会福祉法人監事研修（Zoom9：00～）【石津監事、牛尾監事】
	12. 16	子どもの居場所づくりコーディネーション研修（Zoom13：30～）【SC3 名】
	12. 23	生活支援コーディネーター養成研修（実践①、②）（浜田合庁 10：15～）【盆子原 SC】
	1. 9	生活困窮者自立相談支援機関グループスーパーセッション形式事例検討会（いわみーる 10：00～）【川上主任】
	1. 13	江津市出前講座（高齢者疑似体験）（川波小 9：25～）【青笹主事、武田職員】
	1. 13～14	社協トップセミナー（ホテル白鳥 15：00～）【藤田会長、内田副会長、林事務局長】
	2. 4	しまねの郷づくり担い手育成研修における行政職員等向け「地域を元気にする！生成 AI 入門講座」（いわみーる 14：00～）【盆子原 SC】
	2. 6	権利擁護支援シンポジウム（Zoom13：30～）【青笹主事、岡田主事、田坂主事】
	2. 18	チーム力向上研修（Zoom13：25～）【川上主任】
	3. 6	コミュニティソーシャルワーク実践力強化研修（さんびるホール 10：00～）【川上主任、盆子原主事】

(5) 権利擁護・虐待防止対策の推進

事業名	①日常生活自立支援事業																	
事業内容	○判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的として、それらの方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、日常的なお手伝いを社会福祉協議会や生活支援員が行う。 (1)福祉サービスの利用援助 福祉サービスの利用に関する手続きや利用料を支払う手続きなど (2) 日常的金銭管理サービス 年金等の受領に必要な手続き、医療費・公共料金・日用品の代金の支払いなど (3)書類等の預かりサービス 年金証書、預金通帳、契約書、実印、銀行印等の保管 (4)利用料・・・1,400 円×利用時間＋交通費（※ただし、生活保護世帯は支援計画に基づいた支援は無料） 預かり料・・・月額 200 円																	
対象者	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳所持者、認知症の診断を受けている者に限らない）																	
成果等	○令和7年度実績 <table><tr><td>①前年度末の契約者数</td><td>32 件</td><td>(前年度比 5 件減)</td></tr><tr><td>②新規契約者数</td><td>2 件</td><td>前年度比 1 件増</td></tr><tr><td>③解約・終了者数</td><td>2 件</td><td>前年度比 4 件減</td></tr><tr><td>(そのうち成年後見制度移行数)</td><td>0 件</td><td>前年度比 4 件減</td></tr><tr><td>④年度末時点の契約者数</td><td>32 件</td><td>(前年度比増減なし)</td></tr></table> ○適切な福祉サービスの利用、公共機関等への書類提出の支援、親族等からの金銭虐待の防止、公共料金等の支払い遅延の防止、無駄遣いの抑制など、利用者の権利擁護に寄与した。 ○新規契約希望相談はあるが、身体的理由などで利用希望や契約予定者が事業利用を希望していないなど契約対象外の相談であるため、利用契約に結び付かない。			①前年度末の契約者数	32 件	(前年度比 5 件減)	②新規契約者数	2 件	前年度比 1 件増	③解約・終了者数	2 件	前年度比 4 件減	(そのうち成年後見制度移行数)	0 件	前年度比 4 件減	④年度末時点の契約者数	32 件	(前年度比増減なし)
①前年度末の契約者数	32 件	(前年度比 5 件減)																
②新規契約者数	2 件	前年度比 1 件増																
③解約・終了者数	2 件	前年度比 4 件減																
(そのうち成年後見制度移行数)	0 件	前年度比 4 件減																
④年度末時点の契約者数	32 件	(前年度比増減なし)																
備考	・利用料の改定あり ・R8.3.31 現在の生活支援員数 27 名（前年度比2名増；新規登録者6名、体調不良等による辞任4名）																	

事業名	②法人後見受任事業								
事業内容	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な者の判断力を補うため、本協議会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを推進する事業である。今後、日常生活自立支援事業利用者等において、更なる判断能力等の低下により成年後見人等が必要な場合が増えることが想定されるため、地域で暮らす方々の権利を擁護していく上でのセーフティネットのひとつとして本協議会が受任している。								
対象者	江津市内に在住し、他に適切な後見人等が得られない者とするほか、次の各号のいずれかの要件を満たす者 ①日常生活自立支援事業の利用者であって、その事業では対応が困難であると判断される事項に対応する必要性が生じた場合 ②市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始の審判を申し立てた場合 ③その他、特別の事由により必要があると本協議会会長が認める者								
成果等	○令和7年度実績 <table><tr><td>前年度末の受任者数</td><td>14 件</td><td>前年度比 1 件増</td></tr><tr><td>新規受任者数</td><td>0 件</td><td>前年度比 1 件減</td></tr></table>			前年度末の受任者数	14 件	前年度比 1 件増	新規受任者数	0 件	前年度比 1 件減
前年度末の受任者数	14 件	前年度比 1 件増							
新規受任者数	0 件	前年度比 1 件減							

	受任終了者数	3 件	前年度比 3 件増
	年度末時点の受任者数	11 件	前年度 3 件減 後見 7 件、保佐 3 件、補助 1 件
○被後見人等の金銭管理・身上監護を行い、その人らしい生活ができるよう支援した。 ○権利擁護推進委員会を年 2 回（開催日①R7. 10. 27②R8. 2. 4）開催し、専門的知識を有する委員より本事業をはじめとした権利擁護の推進について助言を受けた。			
備 考	・R8. 3. 31 現在 法人後見支援員数 17 名（前年度比 3 名減） 稼働支援員数 11 名（前年度比 2 名減）事務補助の支援員を含む 担当ケース数 11 件（前年度比 2 件減）		

事業名	③権利擁護の普及啓発及び権利擁護人材の育成
事業内容	成年後見制度の利用を必要とする人が増加する中、親族後見人が得られず、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による第三者後見人が選任されるケースが増加している。今後もますます同制度の利用を必要とする人が増加することが予測されることから、社会貢献活動に意欲がある市民が第三者後見人になる“市民後見人”への期待が高まっている。そのため本協議会では、後見人等を担うことのできる市民後見人の養成や育成を行うとともに、本協議会が行う法人後見受任事業や日常生活自立支援事業を支援していただく法人後見支援員および生活支援員の養成・育成を図り、判断能力が不十分な人の権利擁護を図るための取組を行う。 法人後見支援員から担当しているケースを自身が市民後見人として受任したい意向があったため、市民後見人第 1 号誕生を目指して、R6. 10. 11 に先進地である大田市成年後見支援センター（大田市社会福祉協議会）を視察した。その後、当該法人後見支援員が体調不良で、法人後見支援員を辞任したため、改めて市民後見人誕生にむけた体制整備を検討する。 また、判断能力が不十分な人のみならず、すべての人の自己実現、自己決定の尊重、権利行使が守られる社会の実現を目指し、権利擁護の理念の普及啓発を行う。
対象者	市民
成果等	①令和 7 年度権利擁護人材フォローアップ研修会 【1 回目】 ○日 時 令和 8 年 1 月 26 日（月）10：00～12：00 ○会 場 江津ひと・まちプラザ 2 階会議研修室① ○講 義 「認知症への理解を深める」 講師 済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住美加氏 ○参加者 生活支援員・法人後見支援員・未登録者※15 名 ※未登録者：市民後見人養成講座を受講した者で支援員に登録していない者 【2 回目】 ○日 時 令和 8 年 2 月 9 日（月）10：00～11：30 ○会 場 江津ひと・まちプラザ 2 階ホール ○内 容 ①事務局説明 「江津市における日常生活自立支援事業と法人後見受任事業の現状」 ②支援員交流会 ○参加者 生活支援員・法人後見支援員 6 名 ②市民後見人活動に向けたフォローアップ研修会 法人後見支援員が市民後見人へ移行する、または、将来的に市民後見人の登録を検討されている方が、法人後見支援員として登録・活動しながら後見事務等を学び、市民後見人活動に必要な知識を身につけていただくことを目的に実施。 ○日 時 令和 7 年 11 月 8 日（土）10：00～11：45 ○会 場 江津市地場産業振興センター 1 階 会議室 ○講 義 「初回報告の事務」

	(市民で支える成年後見制度講座～市民後見人養成講座～科目の振り返り～) 講師 社会福祉士 齊藤 建氏 ○参 加 者 法人後見支援員・法人後見支援員未登録の生活支援員・R6 年度市民で支える成年後見制度講座修了者で将来的に市民後見人登録を希望する者、今後登録を検討する意向を示した者 5 名 ③成年後見制度普及啓発講演会 ○日 時 令和 7 年 6 月 21 日 (土) 9 : 30～12 : 25 講演 9 : 30～11 : 05 事業紹介 11 : 05～11 : 15 相談会 11 : 25～12 : 25 ○会 場 【主会場】江津ひと・まちプラザ 2 階ホール 【サテライト会場】桜江総合センター 2 階研修 ※主会場とサテライト会場をオンラインで中継 ○講 演 「成年後見制度と相続制度ってどんなもの？」 ～任意後見制度・遺言制度から考える安心して過ごせる老後のために～ 講師 弁護士法人佐和法律事務所 弁護士 今城 崇 氏 ○事業紹介 「中核機関の紹介」 担当 江津市地域包括支援センター 主任 福田 可菜絵 氏 受講者 35 名 (相談員 6 名を含む) ○相 談 会 相談員は石見成年後見センターから 5 名、中核機関職員等より 2 名 相談者 【主会場】 4 組 8 名 【サテライト会場】 1 組 1 名 ③広報紙による啓発活動 ・社協広報紙に専門家等の寄稿による「権利擁護コラム」を掲載 <table><tr><th></th><th>内 容</th><th>執筆者</th></tr><tr><td>4 月号</td><td>「赤ちゃん登校日」の取り組みについて</td><td>NP0 ちゃいるどリーむ 理事長 牛尾雅弘氏</td></tr><tr><td>7 月号</td><td>新しい認知症観への変革</td><td>済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏</td></tr><tr><td>10 月号</td><td>認知症の人の意思決定支援 ～人と人との対話から～</td><td>済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏</td></tr><tr><td>12 月号</td><td>映画「砂の器」50 周年と権利擁護</td><td>日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 長岩嘉文氏</td></tr><tr><td>2 月号</td><td>交通事故で自己破産する加害者・泣き寝入りする被害者を生み出さないために ～任意保険加入のすすめ～</td><td>島根西部法律事務所 弁護士 木暮 孝氏</td></tr></table>		内 容	執筆者	4 月号	「赤ちゃん登校日」の取り組みについて	NP0 ちゃいるどリーむ 理事長 牛尾雅弘氏	7 月号	新しい認知症観への変革	済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏	10 月号	認知症の人の意思決定支援 ～人と人との対話から～	済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏	12 月号	映画「砂の器」50 周年と権利擁護	日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 長岩嘉文氏	2 月号	交通事故で自己破産する加害者・泣き寝入りする被害者を生み出さないために ～任意保険加入のすすめ～	島根西部法律事務所 弁護士 木暮 孝氏
	内 容	執筆者																	
4 月号	「赤ちゃん登校日」の取り組みについて	NP0 ちゃいるどリーむ 理事長 牛尾雅弘氏																	
7 月号	新しい認知症観への変革	済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏																	
10 月号	認知症の人の意思決定支援 ～人と人との対話から～	済生会江津総合病院 認知症看護認定看護師 高住 美加 氏																	
12 月号	映画「砂の器」50 周年と権利擁護	日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 長岩嘉文氏																	
2 月号	交通事故で自己破産する加害者・泣き寝入りする被害者を生み出さないために ～任意保険加入のすすめ～	島根西部法律事務所 弁護士 木暮 孝氏																	
備 考																			

(6) 再犯防止の推進

事業名	① 高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 6-7 頁記載 I-(2)-④参照】
事業名	② 生活福祉資金貸付事業【再掲 12-13 頁記載 III-(1)-⑦参照】
事業名	③ 民生基金貸付事業【再掲 13 頁記載 III-(1)-⑧参照】

事業名	④ ふれあい福祉センター総合相談事業【再掲 13-14 頁記載 III-(1)-⑨参照】
-----	--

事業名	⑤ 広報紙の発行およびホームページの更新【再掲 14 頁記載 III-(2)-①参照】
-----	---

事業名	⑥ 日常生活自立支援事業【再掲 19 頁記載 III-(5)-①参照】
-----	-------------------------------------

事業名	⑦ 生活困窮者自立支援事業【再掲 14 頁記載 III-(1)-⑫参照】
-----	--------------------------------------

事業名	⑧ 緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）【再掲 15 頁記載 III-(3)-②参照】
-----	---

事業名	⑨ 入居債務保証支援事業【再掲 15-16 頁記載 III-(3)-④参照】
-----	--

事業名	⑩ 社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）【再掲 16 頁記載 III-(4)-④参照】
-----	---

(7) 団体事務の受託

事業名	①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）
事業内容	江津市民生児童委員協議会事務事業を全面的にバックアップし、その事業の円滑な推進を図る。 (1) 協議会事業計画、予算、決算、会計事務等の受託 (2) 各種会議の開催（理事会及び単位民児協正副会長・主任児童委員・女性民生委員児童委員代表者会合同会議、正副会長会、部会等） 令和7年度 15 回開催 (3) 各種研修会の開催（全員研修会） (4) 各種福祉事業への協力（主催・共催） (5) 江津市民児協以外が開催する各種会議・研修会への参加調整 (6) 各民生委員・児童委員への情報提供 (7) 各民生委員・児童委員への活動助言 (8) 互助事業
対象者	民生委員・児童委員 110 名
成果等	○民生委員・児童委員の資質向上 → 地域住民の生活改善 ○各民生委員・児童委員の負担軽減 ○民児協の多端な事務一切を処理し、その活動の充実化を支援した。 ○改選期であった為、理事会及び総会は2 回開催した。 ○鳥取市民生児童委員協議会理事視察研修を受け入れ、災害等について研修を行った。
備考	

事業名	②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託）
事業内容	社会福祉協議会にとって、最も身近な高齢者の自主的地域組織であるため、その活動をバックアップし、円滑な推進を図る。 平成 28 年度からは市老連に専任の事務局長が配置されたことにより、本協議会は業務の一部を受託し、側面支援を行う。
対象者	市民、事業者

成果等	R8.3.31 現在 単位老人クラブ数（休会クラブを除く） 14 クラブ（前年度比 1 クラブ減） 会員数 311 人（前年度比 146 人減）
備 考	○日常的な業務の支援 ○事務局長不在時の対応（報告書・金銭の授受、電話・来所対応）

事業名	③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）
事業内容	共同募金委員会諸活動をするための窓口業務等を行った。募金は県共同募金会へ送金されるが、翌年度その約 7 割程度が社協をはじめとする市内の福祉団体等に助成され、地域福祉推進の主要な財源である。 (1) 共同募金助成計画の立案 (2) 共同募金の推進 (3) 収入・支出等の会計事務 (4) 県共募との連携・調整
対象者	市民、事業者
成果等	○各地区での戸別募金、街頭募金、法人募金、イベント募金、職域募金等を実施 ○令和 7 年度実績額（一般募金） 7,039,514 円（前年度比 643,140 円減） （テーマ型募金） 155,453 円 ○令和 7 年度助成決定額 5,751,458 円（地域福祉活動推進事業等 37 事業に助成）
備 考	江津市地域対象事業数 37 事業の内訳 （本協議会 8 事業、市共募[公募枠]5 事業、社協支会 23 事業、その他団体 1 事業）

事業名	④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）
事業内容	○赤十字諸活動の窓口業務など、おおむね次の活動を行っている。 (1) 社資募集 (2) 救急法等赤十字各種講習 (3) 災害見舞金品の贈呈等 (4) 収入支出等会計事務全般 (5) 日赤県支部との連絡調整 (6) 赤十字思想普及キャンペーン (7) 災害義援金の受付 ○大災害時の救援活動のみならず、平素の小災害救援、救急法や幼児安全法等の講習を行うなど、身近なところでの活動も多い。
対象者	赤十字社員（江津市民）
成果等	○社資の募集を中心に事務局として、赤十字諸活動の末端事業を受持っている。 ○令和 7 年度社資募集実績額 5,030,480 円（前年度比 224,302 円減） （募集目安額 700 円/世帯） ○令和 7 年度災害見舞金品贈呈件数 8 件（前年度比 8 件増） ○江津市内での災害非常食炊出し研修への参画・助成 1 件（前年度同数） ○2025 ごろ秋まつりに日赤県支部とともに参加し、赤十字 PR 活動を行った。
備 考	〔役員〕 江津市地区長・・・江津市長 副地区長・・・・・・江津市副市長、江津市社協会長 幹 事・・・・・・江津市社会福祉課課長補佐、江津市社協地域福祉課長